

◎山田憲昭市長

県に対する要請・提言の対応についてお答えをいたします。

5月12日、私から知事に対し、個別接種がさらに進捗するよう、高性能冷凍庫を各医療機関に配置をしてほしい旨の要望をいたしました。

これまで国は、ファイザー社製のワクチンの保管可能期間を2度から8度の冷蔵状態で5日間が限度であるとしておりましたが、先頃発表されました事柄では、5日間から1か月間は保管が可能であるということになったそうであります。

それによりまして、個別接種の医療機関では、これまでの冷蔵庫で十分管理ができるようになったことから、高性能の冷凍庫の配置につきましては、必要がなくなったということと考えております。

次に、山梨モデルについてであります。

これは、山梨県が実施をしております「安心・信頼の提供」をテーマに、感染症に強い事業環境づくりの支援及び利用者の安心・信頼の獲得を目的とした、やまなしグリーン・ゾーン認証制度のことです。

具体的には、県が宿泊・飲食業者などに対し、感染症の予防対策に係る業種別ガイドラインに基づき、県独自の認証基準を設け認証する第三者認証制度で、認証者には支援金や補助金などを給付するものであります。

市では、山梨モデルの導入について、ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた感染防止対策を徹底する上で重要なことと考えており、5月12日に知事に対し、その導入を提言いたしましたものであります。

この提言を受けまして、県は、認証制度の導入に関する費用を6月補正予算案に盛り込むことといたしております。

市といたしましても、事業者が行う感染拡大防止対策機材の購入費用に対し、支援できないか検討をいたしているところであります。